

君と、進化する。



記念病院の薬剤科の魅力は、自分たちの手で、色々なことを変えて時代に対応していくことです。

当院は中小規模なのでフットワーク軽く、よくミーティングを開き意見を出し合います。

問題が起きれば問題改善を考え、それを提案し、医師、看護師との距離が近いので他職種で相談してそれを実現することが出来ます。

組織の大きい病院では、時間がかかり難しいことです。

そして、何より薬剤科メンバーの行動力があると自負しています。マンパワーがなければ、変化もないでしょう。棚をDIYしたこともあります(笑)

時代の流れで変化する医療や、ニーズに対応していく力を養うことが出来ます。

常に、進化する。そして君と、進化したい。

それが私たち、記念病院 薬剤科です。

1年で育てる教育システム

薬剤科の教育システムとして、全ての業務が1年で出来るようになります。これは中小病院ならではのメリットで、1年ですべての業務に携わることができ、そして独り立ちへと導きます。

過去、数々の新人薬剤師を育ててきた実績があります。

独り立ち後は、経験で薬剤師力が高まり、立派な薬剤師へと磨かれていきます。もちろん何年経っても先輩たちのあたたかいサポートは変わりません。



ミーティング風景

病院薬剤師としての役割

外来は全面院外処方箋のため、入院業務をメインとして行っています。入院した患者が自宅に帰れるまで、チーム医療でそれを支援します。服薬指導、患者に合わせた薬剤の提案、副作用モニタリングなどで関わっています。

倉敷記念病院(194床)はケアミックス型の病院で、同一敷地内に多数の介護施設を擁しており、事業所間の連携も密に行われています。



新人薬剤師がんばっています！

病院では、内服薬だけではなく注射薬についても学べ、とても勉強になっています。また幅広い業務を一人でこなせるよう日々努力しています。

